

クラス番号	223	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	安田 華子
テーマ	乳児期から青年期までの子どもに必要な支援を考える		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

保育所や自立援助ホームなどの職員(以下、職員)は、0歳から18歳までの子どもに対して支援を行います。また近年では、職員は幅広い子どもの支援だけでなく、保護者支援の必要性が叫ばれており重要な役割を担っています。幅広い年齢の子どもや保護者への支援を行うために、子どもの発達段階はもちろん、個々が持つ問題や課題についても目を向けていくことが必要となります。

そこで、このゼミでは、子どもの支援に必要なことに加えて、それぞれのライフステージに起こる可能性について学んでいきます。また、グループワークとして個々に合った支援を考えるとともに、保育所などの集団生活のなかで、どのような保育を行っていくのか考え、指導案を作成していきます。最終的に、プレゼンテーションを行い、実践後の子どもや保護者がどのように変化するのかを討論していきます。職員の仕事の多様性や、子どもと保護者に寄り添い支援を行うために必要なことを学び、少しでも多くの知識と技術を身につけることを目的とします。また、グループワークやプレゼンテーション、レポート作成・添削とおして他者に伝わる文章を作成することで文章能力の向上を目指します。

授業計画：

詳細は未定ですが、以下のような内容で進めていく予定です。

1. ゼミ生同士が交流を深め、コミュニケーションが図れるように、グループワークを取り入れていきます。
2. グループごとにプレゼンテーションを行い、その後の子どもや保護者について討論を行います。
3. 関心のあるライフステージをグループごとで、事前学習を行います。
4. グループごとでプレゼンテーションを行います。
5. グループごとでフィールドワーク(例：保育所、児童養護施設、自立援助ホームなど)に出かけます。
6. フィールドワークで学んだことを、それぞれまとめプレゼンテーションを行います。
7. フィールドワークで学んだことを、レポートとしてまとめます。

担当教員からのメッセージ



私は保育所と自立援助ホームで子どもや保護者に関わってきました。その他にも、子育て支援や学童保育など、子どもに関わる様々な場所に関わってきました。プライベートでは、小学校低学年と認定こども園に通う2人のわんぱくな男の子の育児に奮闘中です。

現場での経験談や実際に子育てをして感じたことや、職員と保護者に起こる子どもを見る視点の違いなどを取り入れ、より深い学びに繋がるよう勧めていきます。

また、グループワークを中心に、自分で考えることや他者の言葉を聞くこと、文章としてまとめることや発表することになれると同時に、自己理解・他者理解を深められるように実践していきます。

ゼミに主体的に取り組み、将来、保育所や児童養護施設などに就職を考えている学生を歓迎します。自分の思いを自由に発言ができ、何でも話すことができる温かい場所になりたいと考えています。